

# 風のように

甘木教会



主任牧師：白川道生 牧会委嘱牧師：竹田孝一

3:26 あなたがたは皆、信仰により、キリスト・イエスに結ばれて神の子なのです。27 洗礼を受けてキリストに結ばれたあなたがたは皆、キリストを着ているからです。ガラテヤ3：26-27 8:39 「自分の家に帰りなさい。そして、神があなたになされたことをことごとく話して聞かせなさい。」その人は立ち去り、イエスが自分にしてくださったことをことごとく町中に言い広めた。

ルカによる福音書8：39

## 【説教要旨】

### 日々の生活へ

洗礼は sacrament、神の秘儀です。洗礼の秘儀とは人の罪を赦そうとする神のみ心で、み心は見えません。しかし、神のみ心を見える水として、この水が人の罪を洗い清める、これが洗礼の秘儀です。

『目に見えない神のみ心一人の罪を赦すー』+『目に見える物(水)』=『sacrament』なのです。したがって、この等式が成立するためには、そこでこの sacrament を受け取る側の『信じる心』が不可欠です。信じる心がなければ、洗礼で用いる水も単なる水道の水と少しも変るところがありません。要するに、神のみ心(言葉)、それを受けとめる人の心(信仰)、これこそが、sacrament といわれる儀式の鍵です。」

パウロの「信仰により」という言葉が鍵の言葉です。人の罪を赦そうとする神のみ心を信じるということです。しかし、信じるという行為も、人のわざでなく、神が私たちに働き、私たちをキリストに結び付けてくださるのです。したがって信じるとは信仰の決意表明でなく、神のありがたい信仰の恵みを「はい」と素直に受取ることです。

別府時代の主治医さんが、よく聖書を読み、内村鑑三の「一日一生」という日々のみ言葉を毎日、読まれて床に着くということでした。とこ

ろが、「どうも、先生方のように信じるということが起きない。信じるということも脳の働きでしょう。でも先生方のように私の脳は信じるということが働いていない。」とよく言われていました。

神への優れた知識を得、どんな立派な行為をしたとしても、信仰は与えられない、先生がいうように信仰を感じる脳の働きでもないと思います。ましてや思い込みでもないのです。

信仰は、信じて仰ぐと書きます。何を仰ぐのでしょうか。十字架で命をささげることにより、イエスは死に打ち勝ち、人の罪を赦しました。十字架上のイエスの裂かれた心臓から、神の愛は、私たち一人ひとりに注がれているという十字架、神の愛を仰ぐのです。神の愛を仰ぎ、神の愛という事実の中に私たちが導かれていくことが信仰です。神の愛の事実を、見えるものとして、洗礼の sacrament を受けるのです。洗礼を受けた者は、イエスさま、十字架を通して、神の愛が見えるものとなったのです。この事実がキリスト・イエスに結ばれるという事実には他ならないのです。キリストの十字架による神の愛が、私たち一人ひとりに注がれ、キリスト・イエスに結ばれるゆえに、洗礼の恵みによって、神の子とされ、キリストを着るものとされるのです。

ルターは、「福音的にキリストを着るとは、律法や行いを着るのではなくて、罪の赦し、義、平和、慰め、聖霊における喜び、救い、いのち、キリストご自身と言うはかりがたい賜物を着るという事です。……パウロは、『洗礼によってあなたがたは認識票を受け、それによって、キリスト者に加えられた』とは言っていない。……パウロは、洗礼が単なるしるしではなく、キリストの衣服であり、いやキリストご自身がわれわれの衣服であると教えている。それゆえ、洗礼は非常な強力な、非常に効力あるものである。」と言っています。イエスが与えてくださる神の愛に導かれて受ける洗礼によって、人生を変えるというよりも、新しい誕生と創造の出来事がおこるのです。

私たちは、宣教途上にあつて、洗礼者を出すことに気を使っています。しかし、洗礼によって人数を増やし、組織を発展させ、守るために洗礼はあるのではないと思います。パウロは、「なぜなら、キリストがわたしを遣わされたのは、洗礼を授けるためではなく、福音を告げ知らせるためであり、しかも、キリストの十字架がむなし

いものになってしまわぬように、言葉の知恵によらないで告げ知らせるためだからですⅠコリント1:17」と言っています。「福音を告げ知らせるため」、「キリストの十字架」とは神の愛です。洗礼を受けるということは、十字架、神の愛を知らされ、導かれていく目で見える sacrament で、キリストご自身と言うはかりがたい賜物を着ることで、洗礼によって、「そればかりでなく、苦難をも誇りとします。」と人生を新たに創造されていくのです。

悪霊に着かれた人はイエスさまに癒されます。

8:38 悪霊どもを追い出してもらった人が、お供したいとしきりに願ったが、イエスはこうってお帰しになった。 8:39 「自分の家に帰りなさい。そして、神があなたになさったことをことごとく話して聞かせなさい。」その人は立ち去り、イエスが自分にしてくださったことをことごとく町中に言い広めた。

イエスさまは敢えて、「自分の家に帰りなさい。」と諭します。彼にとっては悪霊につかれた日々があった、正直、帰りたくなかったところです。しかし、彼は昔の彼ではないのです。イエスさまの愛に触れることによって、新しい誕生と創造が起きたキリストに結び付けられた神の子なのです。「そればかりでなく、苦難をも誇りとします。」というそればかりでなく—今までは襲ってくる苦難に負けそうになったが、これからは、苦難をも誇りとする新たな人と誕生と創造された人になっているのだとイエスさまは宣言されます。神に助けを求めていたあなたは、神があなたになさったことをことごとく話して聞かせることが出来る神を助ける者とされているとイエスさまは言われます。

私たちは、神の愛を仰ぎ、神の愛という事実の中に導かれていく信仰を生き、洗礼、sacrament をいただきました。私たちは、今は苦難のときを生きています。しかし、そればかりでなくという苦難をも誇りとし、イエスが自分にしてくださったことをことごとく町中に言い広める人とキリストに結ばれ、キリストを着て新たに誕生し、創造されています。日々の生活で、イエスさまがしてくださったことを語らざるをえなくなるのです。

参考:「真理を求めて」 江口再起 日本福音ルーテル教会  
「ガラテヤ書大講下」 徳善義和訳 聖文舎

## 牧師室の小窓からのぞいてみると



世界の火薬庫といわれる中東、イスラエルとイランの紛争が始まり、激化している。核関連施設をイスラエルが攻撃したように火薬庫が爆発し、これが世界へ広がっていくことが恐ろしい。ウクライナ紛争の激化、中国の台湾進攻などが予想される世界が目の前にある。

聖書は、終末の徴として、「戦争の騒ぎや戦争のうわさを聞いても、慌ててはいけない。・・・あなたがたは自分のことに気をつけなさい。・・・しかし、まず、福音があらゆる民に宣べ伝えられねばならない。・・・何を言おうかと取り越し苦労をしてはならない。マルコ13:3-13」とイエスは、ペテロ、ヨハネ、アンデレに語る。自分のことに気づく、取り越し苦労しないーそれは、神の愛に内に私たちはあることということです。いたずらに不安に陥らず、今日出来ること神の愛を宣べ伝えていきましょう。

## 園長・瞑想？ 迷走記



「去年(2024年)1年間に生まれた子どもの数はおよそ68万6000人で、初めて70万人を下回ったことがわかりました。また、1人の女性が生涯で出産する子どもの数を示す「合計特殊出生率」は「1.15」となり、過去最低を更新しました。厚生労働省によりますと、2024年の「合計特殊出生率」は前の年から0.05ポイント下がって「1.15」でした。9年連続の減少で、過去最低を更新しました。都道府県別でみると、最も低い東京都では前の年から0.03ポイント下がり「0.96」で、2年連続で「1」を下回りました。去年1年間に生まれた日本人の子どもの数は前の年から4万人余り減って68万6061人で、1899年に統計を取り始めてから初めて70万人を下回りました。」とヤフーニュースは伝えています。

社会の構造の変化、出産数の減少は幼稚園にとって園児を得ることが大変に難しくなります。しかし、逆にこの厳しさが幼児教育、保育、とりわけキリスト教教育・保育とは何かということを問いなしてくれる良い機会を与えられたと思います。キリスト教教育・保育とは何かということを語れなくなったなら退場ですね。面白い時代になります。

## 日毎の糧



22:27 貧しい人は食べて満ち足り／主を尋ね求める人は主を賛美します。いつまでも健やかな命が与えられますように。 22:28 地の果てまで／すべての人が主を認め、御もとに立ち帰り／国々の民が御前にひれ伏しますように。 22:29 王権は主にあり、主は国々を治められます。神に従う人よ、主にあって喜び祝え。聖なるみ名に感謝をささげよ。

詩篇22：29



### ルターの言葉から

主が神の力を用いず、全能の力にも目を向けず、苦しみの間、かたわらに置いておかれたということです。・・・主のからだといのちは激しく苦しみました。しかし、それは私たちに限りない幸いを与えるために、ご自分の大きな喜びとして受けて下さったのです。

『マルティン・ルター日々のみことば』鍋谷堯爾編訳 いのちのことば社

### 主にあって

詩人は神に祈り叫びます。「22:20 主よ、あなただけは／わたしを遠く離れないでください。わたしの力の神よ／今すぐにわたしを助けてください。 22:21 わたしの魂を剣から救い出し／わたしの身を犬どもから救い出してください。」

この祈りと叫びは、現代社会を生きる地球のどこでも叫び、祈られているのではないのでしょうか。そして、私たちの願いは、「22:27 貧しい人は食べて満ち足り／主を尋ね求める人は主を賛美します。いつまでも健やかな命が与えられますように。」ということです。しかし、その願いはかき消されるような現実があります。しかし、この現実の世界の中にも主は治められています。主に従い、主のみ心になる世界を作るために小さなキリストとされ、弱く痛めつけられている隣人のために自分のためでなく、生きて仕えるものとされています。

祈り: 主よ、私を小さなキリストして仕えるものとしてください。

甘木通信

## 「父の日」



私の父は、実直な、まじめだけの人で、何の取柄もない人だと思って、父のようにはなりたくないと思っていました。しかし、幼児、子ども、成人、そして結婚し、二人の子育てをしていき、今、人生を閉じようとしているとき、振り返れば、父の足元にも及ばないということをつくづく感じています。

「うらを見せおもてを見せて散るもみぢ」は良寛さんの辞世と言われているように自然の風に身を任せ、静かに散っていくもみぢのように、身を時に任せることのできる大きな力をもっていました。しかし、剛くはなく、むしろ弱々しく見えました。しかし、折れませんでした。最後まで自分の人生を歩み通しました。今、「散る桜 残る桜も 散る桜」(良寛さんの辞世)という歳になってきて、父のように柔らかく人生を生き通せるかという自信がありません。

イエスさまの言葉にある「柔和な人々は、幸いである。その人たちは地を受け継ぐと」いわれました。「柔和」は、優しいということの意味とすべてにおいて謙虚であり、時に任せるという意味もあるのではないのでしょうか。そういう人が幸せな人生を歩めるということだと思います。改めて父は、弱いのでなく、葦が風に任せしなって強く、生命力を持っているように真の生きる力を持っている人だったんだと「父の日」に改めて父のことを思いつつ、父である自分を見つめ直していました。

(甘木日記)土) 梅雨でじめじめしているところで、午前中は、日善幼稚園に。床のワックス塗りで業者さんがくる。日) 礼拝時間中は、雨も止み、本当に助かった。さて、夏花壇の準備をしなくてはならない。月) 日善幼稚園の「花の日の礼拝」。日頃お世話になっている方々へ花を届けに子どもたちは行く。火) 東京の管理者委員会。園の給食を食べる。凄く美味しい。自園給食が一番。子どもたちは幸せ。水) 園を最後に出て、園庭掃除、納骨堂を含め花に水やり。木) 松崎保育園で聖書の学び、子供礼拝、その後、日善幼稚園に。明日は日善幼稚園の仕事の後、東京へ。

**おまけ・牧師のぐち**（続日記）牧師だって神さまの前でぐちります。ぐちらない聖人（牧師）もいますが。

土）梅雨でじめじめしている。午前中は、日善幼稚園へ。床のワックス塗りを業者さんがしている時間、主日の準備。東京ではワックス塗りは自分でしていたこともあるが、業者さんは流石。綺麗になった床で子どもたちが遊んでくれるのが第一。日）朝の掃除は順調に行く。していると週の中で溝の掃除など掃除された形跡がある。見えないところで多くの方に支えられて教会はある。幸い雨も降らずに礼拝から信徒さんが家に帰られたことにほっと安心する。今日も久留米まで車で送っていただく。ありがたい。夜、羽村幼稚園の理事会、評議員会の打合せを園長とする。

月）日善幼稚園の「花の日の礼拝」。教会の前の会社は三歳未満の園児、隣の元病院には、年少さん、署には、年長さんが花を届け大きな消防自動車を背景に記ましくもある。園児とクラス



郵便局には年中さん、消防にいく。年長さんを引率。念の写真。喜ぶ園児らに羨担任、2人は、園バスで園へ。園長は歩き。途中で、にわか（桔梗）雨の洗礼。たまたまタクシーが止まり、タクシーで帰宅したがずぶ濡れ。最終便の飛行機で羽村幼稚園管理者会議のために東京へ。搭乗中、詩篇を読む。火）朝は監事が指摘していた「弥生会計」のソフトの使い、学校会計に出来るようにIさんに教わる。これは面白いと思うが、出来るかという心もとない。病院に寄りた

かったが時間がなく羽村幼稚園へ。しかし、4人の職員に急の仕事を頼んでいたものでこれだけほしい、お礼のお菓子を東京駅で購入。会議が終わり、最終便一本前の飛行機で福岡に帰る。東京は真夏日であったが病人とは思えに程よく動いた。これも神のご加護。水）九州も暑い。職員会議、その議事録の作成。幼稚園運営委員会の資料作り、救命救急講習会、羽村の管理者会議の処理と詰まった時間だった。園を最後に出ると日差し

も弱くなっていたので、明日、掃除される方は日差しが強いところするだろうと思ったので、園庭掃除、庭、納骨堂の花に水やって帰宅。お腹がすく。病気も快復したか？せっかく痩せたのに・・・。木）松崎保育園で職員と聖書の学び。子ども礼拝。主任がお休みで、すぐに久留米に帰り、急遽、日善幼稚園で仕事。終礼で子ども成長を先生方と分け合

った。掃除をし終わると20時。汗、汗。今日もお腹がすく。暑さにかかわらず、病人なのによく動くと思う。体調も戻りつつあるのだろうか。明日の金曜日は、最終便で羽村幼稚園の理事会、評議員会で東京へ行く予定。「あなたの翼の陰に人の子らは身を寄せ。詩篇36：8」という一週間だった。幼稚園は、夏の花になりつつ。

（山アジサイ）➡

